

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCCもこもこ大和田教室		
○保護者評価実施期間	対象者不在のため実施無		～ 対象者不在のため実施無
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまと保護者様のニーズをベースとした、個別と小集団を組み合わせた、学習支援及び交流支援	お子さまそれぞれにとっての必要な「学び」を、特性や関心を踏まえ、年齢にとらわれず、個別的に支援します。それぞれのお子さまにとっての個別の「学び」を通じて、自信を育て、自己肯定感を高め、就学に必要な力に繋がる支援を行っています。	就学に向け、お子さまひとりひとりにとって適当な支援を行い続けるために、お子さまと保護者さまのお話を伺い、随時アセスメントを行い、制度（福祉に限らず）更新に伴う情報提供を行います。
2	ご家族さまへの様々な相談支援	事業所内のことのみならず、ご家族様の様々なご心配（進路のこと、園・家庭生活での困り、きょうだいのこと、親子のこと、手続きのこと等々）に対し、相談内容に制限を設けず、一緒に考えることをモットーとしています。必要に応じて、情報提供や機関連携も図っています。	相談に対し、より適切な支援を行えるよう、関係機関との連携を通じた関係の向上を図ります。また、福祉、教育、労働等、関係する制度の情報収集及び情報提供を行います。
3	「学ぶ」と共に、お子さまにとっての「好きな居場所」であること	「学習」への自信の減少は、周囲からの評価や自身の失敗体験から来ていることもあるため、お子さまそれぞれの頑張りや達成に対して、ポジティブな評価を送り、自信の涵養に努めています。また、ボードゲーム等の小集団での遊びを通じ、誰もが受け入れを感じられる場を作っています。	お子さまひとりひとりに応じた「学習課題」の種類の研究開発、小集団のムードに適した「ゲーム」の充実化を図り、より自信が深められるよう、より楽しさを感じていただけるよう、不断の取り組みを続けます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会の少なさ	個別支援を中心とした事業の性質上、不特定者との交流を希望しない方もいらっしゃることもあり、機会の実施は馴染まないところがあると考えています。	個人情報の保護を前提とし、希望者を募る形式で、「学び」の一環として、世代間交流や機関交流の機会は企画していければと考えております。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 2025年4月21日				
YCCもこもこ大和田教室		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習機の配置は、利用者同士が気にならない距離で配置しております。クールダウンできるスペースや畳スペースもあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本人員の配置に加配の職員を加えた体制を取っております。小学生は基本1:1での療育をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊ぶ道具などは気が散らないように視覚的には目立たないようにしています。事業所の前の道路の交通量が多いので、申し送りの際はお子様が一人では外に出ないように声かけやスタッフが付き添っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こまめに清掃や消毒を行い、設備の不具合などを常時確認しております。壁面飾りは学習するに当たり気が散らないようなものにしてあります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室と個別対応できる面談室を使ったりソファがあるスペースを整えてあります。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		イベント時などは振り返りを行うなどのミーティングを行っています。必要な改善点は全体で共有しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様向けの評価表にてアンケートを配布しています。保護者様との面談で得られた意向などを共有し改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		どの立場であっても自由に意見ができるような環境にしております。定期的に面談を行い職員の意見を聞いています。その際の意見について振り返りも行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価制度は導入されていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部研修を毎月1回以上参加しております。研修後には、報告書を作成しスタッフ全員が周知できるようにしています。	
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日頃からお子様とのかかわりや、保護者様との面談、参考質問紙にてニーズをお聞きしています。その後会議を行い放課後等デイサービス計画書を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		常に、担当者と検討する機会を設けており、計画書作成時には他の職員とも共通理解ができるようにしております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に短期、長期目標を掲げ、その目標に沿って支援を行っています。適切に管理された状態で職員間で共有されています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所共通のアセスメントツールを活用し支援中の言動や表情を観察しアセスメントをしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は個別支援計画書に5領域に留意した支援をしています。「家族支援」はご家族様が安心して話せるように環境を整えています。「移行支援」は進路の相談や情報提供を行っています。移行先の連携についても必要があれば行います。「地域支援、地域連携」は保護者様からのご依頼があれば連携をしていきます。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		提供時間前にスタッフ間でお子様の様子を共有し、活動内容の検討を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の目標に沿った学習を行いつつ、季節に応じた内容にも取り組んでいます。また、内容が固定しないように、かつ少しでも楽しいと思えるように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況や保護者様の要望に合わせて個別と集団での活動を組み合わせた計画を作成・実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には必ずその日に来所されるお子様の特性、状況を共有し支援内容の役割分担を決めたうえで支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動後にはスタッフ間で情報共有を行います。出来ない日には、書面をもって共有するか、後日振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当スタッフがお子様の活動内容や様子を支援終了後に記録を毎回作成しております。支援を振り返ることで検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者様との面談や日々の聞き取りの中で目標等の見直しが必要と判断した場合は評価後に、計画書を見直しております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議開催時には児童発達管理責任者と担当スタッフの参加を基本としております。その内容については事業所にて共有しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の希望がある際は、情報提供や連携を積極的に進めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの希望があれば、移行支援やインクルージョンを狙いとした支援、情報連携を行うこととしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの希望があれば、移行支援やインクルージョンを狙いとした支援、情報連携を行うこととしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		通所支援事業所連絡会に定期的に参加し、研修に参加しております。個々の問題がある際も共有し助言を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所としての交流活動は行っておりません。	事業所として、機会があれば行う予定です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に、保護者様に日頃の様子をお聞きし、職員からは活動内容を口頭で伝えております。また、お子様の活動内容や様子を記録し保護者様にお渡しをしております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭や学校での様子、学習方法について伺い、ご家庭でもご負担なくできる声かけの仕方や対応方法をお伝えしております。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に事業所の方針・ルール・負担額の仕組みなどについて詳しい説明を行っております。説明後に同意のうえで契約を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもたちと係わる中で希望を共有し、保護者様に対しては意思を確認する機会を口頭や書面でいただいています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書お渡し時には書面をもって説明をした後同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育ての悩みなどは、主に管理者、児童発達管理責任者がお受けし学習面については担当職員が状況を伺うなどそれぞれに合った支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を定期的に開催し、保護者同士に交流や情報交換をする機会を作っております。きょうだい同士で交流する機会は、現時点では実施しておりません。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者を設置しており苦情があった場合には真摯に受け止め速やかに対応を行うように心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ内のブログで発信しております。イベント時には、お手紙で保護者様にお知らせをしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報保護方針に関する規定を設けており遵守に努めています。書類関係等は他の方の目に入らないように配慮をしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもたちの状況に合わせて、タブレット、筆談、ホワイトボードを使い大きく図示などの対応を行っています。保護者様と直接お話をする際も分かりやすい言葉や、書面などの対応もしております。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在は個人情報の関係もあり地域との交流はしていません。事業所フェアなどには参加しております。近くの学校の実習生の受け入れをしております。	個人情報に配慮の上で、地域の交流のイベントの周知など、参加を希望される方が参加しやすい環境づくりに努めます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種のマニュアルを策定し、職員にはフローチャートをもとに研修を行っております。保護者様には適時対応についてはお伝えしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		感染症、自然災害についてBCPを策定し、適時物品確認や研修を実施しており、役割分担の確認も行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約前（初回面談時）に必ず確認をしております。対応が必要なお子様については、対応表を作成し職員皆で周知をしております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様からの聞き取り、アレルギーがある食物についての確認をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、安全管理について定期的に確認をしております。研修なども参加しております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて説明をしています。安全計画に基づいて防災教育などを実施し、保護者様にも周知をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員には積極的な報告を促しております。報告書については、各事業所にて共有し方策については話し合っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置と年1回以上の虐待防止、権利擁護の研修会を実施しております。年2回ストレスチェックもしております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束をする場合の要件を明確にし同意を得ております。計画書にも記載しております。		